



三木北 Library

兵庫県立三木北高校図書室
令和2年9月29日(火)

未来のために、私たちができること・・・！



安価で便利な素材として過剰に生産・消費され、大量に捨てられているプラスチックのおかげで私たちの生活は飛躍的に便利で豊かになりました。しかし、それはまた深刻な環境問題にもなっています。最近では、レジ袋削減でエコバッグを使う取り組みが広がってきていますが、それだけではなかなか解決はできません。大切なのは、自分の事として考えること！ そのために三木北高校が取り組んでいるSDGsをもっと知り、その中で自分たちができることを考えることだと思います。

今回は、海洋プラスチック汚染、マイクロプラスチックについて考える本を紹介します。

『プラスチック汚染とは何か』 枝廣淳子(岩波ブックレット)

レジ袋をやめれば大丈夫と思っていませんか？ プラスチックの何が、なぜ問題なのか？ それに対して、何をすべきなのか？ あなたも一緒に考えてみませんか？



『脱プラスチックへの挑戦』 堅達京子(山と溪谷社)

スターバックスのストローが紙に……。お店で買い物をすると、「紙袋は有料ですがありますか？」。街を歩く人は、お気に入りのマイバッグを持っている！ でもそれだけでは足りない。2050年海の中のプラスチックゴミの量は、魚の量を超える！ どうすればその危機が回避できるのか？



『プラスチックの現実と未来へのアイデア』

高田秀重(東京書籍)

今、私たちの体の中には、空気や食物連鎖からマイクロプラスチックが少しずつ蓄積されている。その不都合な現実を知り、ポストプラスチック社会を模索しながら、スマートな循環型社会を実現するためのアイデアを考えよう！

みなさんからリクエストされた本が続々と図書室に入ってます！

『鬼滅の刃』が登場！

11月2日(月)～貸出 Start!

炭を売る少年、炭治郎は、家族を鬼に殺されたことで、幸せな生活が一変する。唯一生き残った妹が鬼に変貌するのを救うため、また家族の敵を討つために、炭治郎の厳しく辛い旅が始まる……。妹を元に戻すことができるのか？



『すみっコぐらし』 よこみぞゆり(主婦と生活社)

阪急電車 とのコラボで今話題の『すみっコぐらし』。ゆるいキャラが疲れたところを癒やしてくれます。今回は『すみっコぐらし このままでいいんです』『すみっコぐらし ここがおちつくんです』の2冊が入りました♡



「阪急電車 パンフレット」より

『チコちゃんに叱られる』 (小学館)

「今こそすべての日本国民に問います!」好奇心旺盛で、なんでも知っている5歳の女の子、チコちゃんが素朴な疑問を投げかけます。しっかりしないと、「ボーツと生きてんじゃねーよ!」って言われますよ!!



『ライオンのおやつ』 小川 系(ポプラ社)

人生の最後に食べたい” おやつ“は、なんですか?
余命を宣告された人々が暮らす、瀬戸内のホスピス。そこでは思い出のおやつをリクエストできる「おやつ時間」がある。毎日をもっと大切に生きてくなる一冊。
2020年、本屋大賞、第2位!!



『店長がバカすぎて』 早見 和真(角川書店)

どこにでもいそうな意識高い系の店長にイライラしながら、毎日忙しく働く京子。次々に襲ってくるトラブルに遭いながら、今日こそ「マジ、辞めてやる!」と……。ラストには驚愕のサプライズで気分爽快!



『記憶屋0(ゼロ)』 織守 きょうや(角川ホラー文庫)

つらい記憶を消してくれる「記憶屋」。それに頼ることを選んだ人々は、どんな想いをかかえているのか……。泣けるほど切ない「記憶」をめぐる物語。

『アリバイ崩し承ります』 大山誠一郎(実業の日本社文庫)

美谷時計店には「時計修理承ります」とともに「アリバイ崩し承ります」という貼り紙がある。7つの事件や謎を店主の時乃は解決できるのか……?

